

## 第4回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動報告(令和3年12月4日実施)

### 大田原市 両郷地区 「いちごハウスの管理作業」

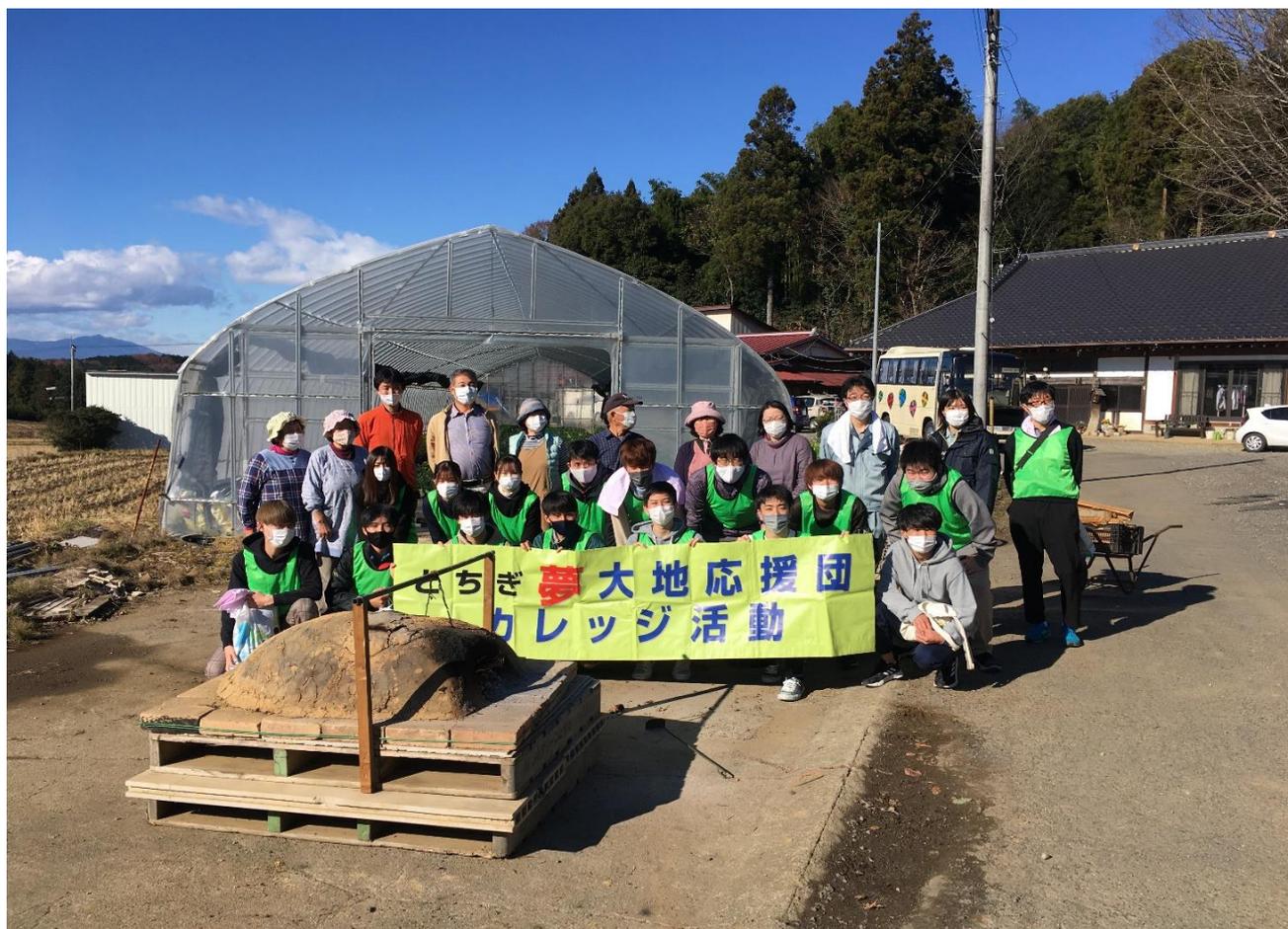
大田原市両郷地区で令和3(2021)年度第4回とちぎ夢大地応援団カレッジ活動を行いました。今回は、帝京大学の学生13名と大学関係者2名が参加し、「三びきの子ぶたおばあちゃんの会」のいちごハウスの管理作業のお手伝いを行いました。

おばあちゃんの会では、いちごの苗を生産し、主に県北地区のいちご農園等に苗を販売しています。また、最近では、グリーンツーリズムの受け入れも行っており、多くの方々へ農作業のすばらしさや田舎暮らしの感動を伝えています。

皆さん大変大らかで、訪れる人に暖かく接して、毎年、多くのファンを生み出している団体でもあります。

参加した学生は、いちご苗の根を固定している“ピン”を引き抜く作業を体験しました。中腰のまま、黙々と作業を進めていました。今回の活動を通して、いちごを管理する作業の大変さを学び、食卓に上がる農産物への感謝の気持ちを改めて感じ取ったに違いありません。

或る学生は、「大学で地域経済を学び、効率的な食品流通を考えている。机上では、出荷した農産物から始まるが、実は出荷するまでも多くの人たちの労力で支えられていることを忘れてはならない。」と話していました。



▲冬空の中、温かなハウスの中で活動を行いました。



最初に、益子きみさんから、施設といちごハウス管理作業の説明がありました。コロナ対策のため、3蜜を避け、マスクを着用しながら、作業に当たりました。



作業は参加者全員を2班に分け、それぞれ、進めていきました。ピンの引き抜き作業も夢中になると直ぐに終わりますが、葉が密集ためか必ず、抜き損じが生じます。何度も見直しを行いながら、作業を進めていきます。



作業にはこのような無理な体勢も作業には伴います。何度も腰を伸ばしながら、いちご苗に向き合います。「これからは、いちご一粒も“一口”では食べることができない。じっくりを味わって食べていきたい。」と感想をもらしていました。



最後は、農家さん達の真心がこもった昼食の時間です。参加した学生の皆さんを喜ばせようとオリジナルのピザ窯も準備したようです。新鮮な野菜をトッピングしたピザを提供していただきました。他にも山菜おにぎり、豚汁、豆が入ったシフォンケーキやお煮染め等、盛りだくさんの昼食でした。